



## 協会活動

### 理学療法フェア2015開催



日時：平成27年7月12日 10:00～16:00

場所：イオンジャスコ名護店

来場者：100名前後（理学療法士協会会員スタッフ：31名）

目的：県民のリハビリテーションに対する啓発および障がいを持った方の社会参加への理解を図ること

感想：今年度も引き続き北部地区にて開催しました。事業内容としては、去年と同様の内容で来場者へ体験をしてもらうこと

を中心に進めていきました。今回は、事前の広報活動が遅かった事などの反省点があり、来年は事前の広報活動を早めに進めていく様にしたいと思います。

来場者からは体験型の内容が良かったという意見があり、また、「自分が思ってた以上に身体が柔らかくなってよかった」「自分の身体について学べる機会なので素晴らしいと思います」「自分が知らないうちに、筋力・バランス感覚が低下しているのは驚いた。日頃から気を付けないといけないと思いました」等の声を聴く事が出来ました。これからも、私達理学療法士一人一人が県民の皆様へ何が出来るかを考えていき、このようなイベントで提供できるようにしていきたいと思っています。これからも宜しくお願い致します。

### 介護予防推進キャンペーン実施



日時：平成27年7月12日（日） 場所：サンエー西原シティ

今回は、昨年に続き第2回となる「介護予防推進キャンペーン」をサンエー西原シティ様、開催地元の西原町役場様やその他関係者の多大なるご支援を得て無事開催することができました。ありがとうございました。さて、同キャンペーンは、理学療法を通じて、介護予防を中心に県民の医療・保健・福祉に寄与するための事業です。

その意義を踏まえて実施したミニ講演会では、「介護予防」、「熱中症」、「変形性関節症」（肩・腰・膝関節を各々実施）、日本赤十字社からの「献血」についての内容で

行いました。特に「介護予防」においては、実際に西原町の介護予防事業を実施している理学療法士が、自宅で簡単にできる介護予防体操をご来場者と共に実践し、分かりやすく楽しい雰囲気でお伝えすることができました。参加された方から頂いたアンケートにおいては、幸いにも「非常に良かった」とのご回答が多くありました。その他、「説明も良い」、「自助具の体験ができた」、「個人指導をしてもらった」等のご称讃を頂いた反面、資料の字が小さくて見えない等のご意見もありました。その他大変に貴重なご意見を頂きありがとうございました。次回の開催に活かしてまいります。最後に、これからも変わらぬご支援の程よろしく願いいたします。（渉外部 安里純治）

### パーキンソン病友の会 交流会 サポート活動報告

日時：平成27年8月23日（日）11時30分～12時30分（台風の影響により時間短縮） 場所：那覇市保健所3階

1. 主催：全国パーキンソン病友の会 沖縄支部 2. 活動内容の詳細

- ①車への乗り降り介助、車～会場までの移動介助、会場設営、会場内移動介助
- ②主催者である方々が不自由なくイベントを行えるよう、また参加されている方々が安心して参加できるよう、イベントサポーターとして、安全かつスムーズに行えるように支援する。
- ③アイディア健康器具（スジのび～る）の使用体験：30個依頼があり贈呈。

（器具提供：ファミリークリニックきたなかぐすく）

今回の交流会開催は、台風の影響もあり交流会は中止され執行部の会議のみとなった。2月の医療講演会と、3月にバスツアーがあることを知らされ同時にサポート依頼となった。バスツアーでは、目的地の選考と、トイレ、食事場所の確保など、イベントの詳細を会員同士で話し合われるなど、半年後のイベント調整が行われていた。会員同士が共助の立場で会を運営している。また、会のサポート回数を重ねていく中で、参加者の身体的特徴が掴めてきており、声掛けやサポートのタイミングが分かってきた。

\*今後のサポート日程

①平成27年 9月27日（日）11:30～16:00 那覇市保健所3F

②平成27年10月25日（日）11:30～16:00 那覇市保健所3F

宮里朝康（ファミリークリニックきたなかぐすく）

## 第65回沖縄県高等学校野球秋季大会 医療サポート事前講習会

平成27年9月10日大浜第二病院にてスポーツ事業部講習会③を開催しました。本講習会は沖縄県高等学校野球秋季大会への医療サポートの事前講習会&打ち合わせ会として毎年行っており、今年度は21名（スポーツ事業部員11名含む）の参加で、先の選手権大会の対応事例紹介とサポートの流れに加えて、ストレッチの実技練習等を行いました。

熱の入った講習会は高校野球に励む球児達を陰で支える責任の大きさを物語っていました。沖縄県の高校球児が事故・ケガがなく、安心して野球に打ち込める環境を整えていくように気持ちを新たにしました。

（スポーツ事業部 牧門 武善）

<受講感想>

今回が初めての参加で、最初は「医療サポートってどんなことをするのだろう？」と全く分からない状態でした。しかし受講してみると複数の事例検討報告で、改めて現場での迅速かつ適切な対応が求められ、スポーツ現場での医療従事者の必要性を強く感じました。

私も学生時代、試合中の怪我で救急隊にお世話になった事があり、その時はとても不安だった事を覚えています。事前講習会も終わり、いよいよ秋季大会がスタートしました、今回試合のサポートへの参加を予定していて、多少不安ですが、経験者が同伴なので安心です。

これからスポーツ関連へのサポートが独りでも出来る様に勉強していけたらと思います。また、スタッフがそろっていれば試合中の対応に加えて試合終了後のストレッチなどアフターケアが出来るとの話なので、次の試合や今後に関わるサポートが出来れば理学療法士が選手にとって大きな支えになれるのではないかと思います。（与勝病院 喜屋原 正広）



<受講感想>

初めに、高校野球の試合での事例紹介とその場面での対応方法や考え方などの報告がありました。次にスタティック・ダイナミクス・バリスティック・徒手抵抗ストレッチの長所や短所、文献等が紹介され様々な視点からの考え方がある事を学びました。実技においてはスタティック・ダイナミックストレッチを体験し被験者の内観や動作評価など効果判定をおこない考察する事が出来ました。今回、ストレッチに対しての考え方を再確認する良い機会となり充実した勉強会となりました。（大浜第一病院 赤嶺 正哉）

## フィジー・沖縄リハアイランドプロジェクト 第2回沖縄臨床技術研修が終了しました

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。国際支援部では「フィジー・沖縄リハアイランドプロジェクト」の2年目の事業として“第2回沖縄臨床技術研修”としてフィジー国より理学療法士、医師、看護師の研修生5名を招き、理学療法研修やチームアプローチ、地域理学療法等について研修、視察を行いました。

今回の第2次沖縄臨床技術研修では、実技を中心とした研修を行いました。研修生は基礎理学療法評価を中心に検査法の確認や実技練習、動作観察を通した問題点の推察や評価法の確認等を行いました。また、急性期のリハビリテーション介入から運動療法のリスクマネジメント、ベッド離床に関するガイドラインの確認や入院時のチームカンファレンスの見学、退院から地域連携に関する地域包括支援についても見学しました。医師や看護師の研修生はフィジー国にも多い脳血管関連疾患についての急性期医療の現場を見学することで、チーム医療の重要性や早期介入の重要性を学びました。

研修生は毎日研修終了時にミーティングを行い、見学や体験したことを共有しフィジー国との違いや活用できる要素について討論しました。時には我々も圧倒される程の熱い討論になり、彼らの情熱に感動することもありました。



研修終了時には沖縄研修で経験したことについて、理学療法士、医師、看護師それぞれが報告会を行いました。それぞれ、フィジー国で活用できる要素や具体的な活動計画について報告し、各部門で感じたことや問題点等を共有することができました。

今回の沖縄研修は天候のアクシデント以外はすべて順調に進行することができたと思います。これも国際支援部の部員を始め、周りで支援していただい

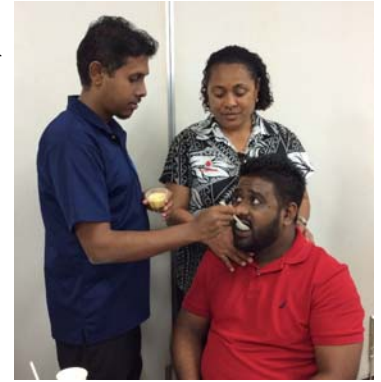




た協会会員の皆様、受入施設のスタッフの皆様、理事の皆様、協会事務員様、JICAスタッフの皆様、そして、プロジェクトマネージャーの比嘉様に感謝しております。

今回の研修について愚痴をこぼさず、常に笑顔で真剣に取り組んだ彼らにエールを送ると同時に、我々も多くの事を学ばせてもらったことに感謝の意を示したいと思います。今後の彼らの活躍に期待したいと思います。プロジェクトに興味のある方、もっと詳しく知りたい方はお気軽に声をかけて下さい

国際支援部 喜屋武龍介(琉球リハビリテーション学院) TEL :098-983-2130  
(内118) Email :intl.opta@gmail.com



## Reviewing “2nd Okinawa Clinical training 2015”

Ryusuke Kyan (Ryukyu Rehabilitation Academy)

We had held 2nd Okinawa clinical training in August. We invited 5 trainees, 3PTs, Doctor, Nurse, respectively. They learned multidisciplinary approach and physical therapy assessment, toured to hospital, clinic, and communities.

In this training, we focused on clinical assessment skills. PT trainees trained and practiced how to measure ROM, MMT, neurological examinations, and swallowing assessment. Additionally, they learned management of acute stroke patients, bedside rehabilitation, rehab exercise, they also conformed about out of bed guideline, observed multidisciplinary approach, how to management the patient to the community when they discharge.



The trainees discussed about what they learned each department every day. Sometimes the discussion got heated, I was surprised their motivations.

When the end of the training, Trainees presented us what they learned in the Okinawa training and how they are going to utilize into Fiji, what they are going to do when they go back to Fiji. I am really looking forward to hear from their response.

Finally, I would like to say thank you to all of IAD staff, OPTA members, Hospital staff, president of OPTA, vice presidents, office staff, JICA staff project manager, Ms. Higa, and the Fiji Trainees, good taking care from Fiji Physios!! Thank you!!

## フィジー・沖縄リハアイランドプロジェクト「第2回沖縄臨床技術研修」を終えて

今回の技術研修では、フィジー国より理学療法士3名、医師1名、看護師1名の研修生が8月10日から約3週間の日程で県内の病院や施設の視察、レクチャーが行われました。当院においては昨年に引き続き脳卒中のリスク管理をテーマに当プロジェクトに関わる機会を頂きました。昨年は座学での関わりでしたが、今回の研修では実際に臨床現場で見学実習という形で研修を行いました。医師・看護師・理学療法士の3名が脳外科病棟でそれぞれ専門職に分かれて計5日間の研修が行われました。医師研修生は脳外科医とともに医師業務や治療、リハビリ処方箋のタイミングについて学び、看護師研修生は看護業務全般を通してケアの違いを学び、嚥下評価チャートを脳卒中認定看護師とともに作成しました。

フィジー国での急性期平均在院日数は2週間以内であり日本と変わりありませんが、脳卒中発症後から治療を終えるまで離床が行われていないことが多く、治療後のPT初回介入時に車椅子へ移乗できたら退院の運びとなるようです。そのため理学療法士研修生は発症後早期の理学療法リスク管理についてICU・ベッドサイドを中心に研修を行いました。日本では当たり前の医学的治療がフィジーでは財政・国の方針から難しいことも多くあるようですが、今回の沖縄臨床技術研修で学んだことがフィジー国の医療の発展へ繋がるヒントとなれば嬉しいです。また、彼らとの交流の中で学んだことも多くあり、とてもいい経験となりました。

(国際支援部 高嶺 藍)

## 介護予防推進リーダー養成研修会開催



日時 : 平成27年9月5日(土) 9:15~17:00

場所 : 浦添てだこホール 市民研修室

2025年の地域包括ケアシステム構築に向けた活動が当協会でも活発になってきています。その中核をなす人材の育成として今年度も介護予防推進リーダー養成研修会が開催されました。この介護予防推進リーダーは市町村で行われる新しい総合事業を担う人材として、基本的な知識と技術を習得し、より専門的な観点から地域で活躍する理学療法士を養成しようというものです。今回は講師を務めた玉城さおりさんへ感想を含めた講義の内容を伺いました。(広報部)



講師を務めた高原充江氏・岡本慎哉氏・玉城さおり氏

昨年より続き、第2回目となった介護予防推進リーダー研修は、受講者約40名で、他専門職の参加もありました。介護予防の制度や行政予算の仕組み、老年症候群の理解やそれに対する評価やプログラムを学び、それをふまえて、ロールプレイやグループワークで実践・体験して頂きました。活発

な意見や発想も多く、地域での理学療法士の活動を理解されたと思います。今後、各行政での地域包括ケアシステムを構築するにあたり、理学療法士の活躍が期待されています。専門性を活かした、地域住民の自立支援に資する取り組みを推進し、介護予防の機能強化を進める事が重要になっています。今後もスキルアップに努める研修を実施していきます。

地域包括ケア推進委員 玉城 さおり (西原町社会福祉協議会)



グループワークとグループ発表

## 地域包括ケア推進リーダー養成研修会開催

平成27年9月12日(土)に沖縄市産業交流センターで地域包括ケアリーダー養成導入研修会が開催されました。日本理学療法士協会は、2025年を目途に住み慣れた地域で医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を推進するにあたり、「地域ケア会議」「介護予防」の2つの施策に重点を置き、関わることのできる人材を育成することとしています。そのうち、「地域ケア会議」の目的を踏まえた上で、会議に参加し、地域の窓口となって顔の見える関係を築き自立支援に繋げる助言ができる。また、理学療法士の強みを生かして、総合的に地域包括ケアシステムを推進できる。この2つに重点を置き研修会を開催しました。参加者は44名。研修会の内容は、①地域包括ケアシステムについて、②地域ケア会議とは、③地域ケア会議に求められる理学療法士の役割、④事例検討、⑤模擬会議の実際と心構え、基本的な内容を中心に学ぶことができました。現在、県内数ヶ所で実施されている地域ケア会議への理学療法士派遣が始まっており、自立支援への推進ができるようPT・OT・ST・栄養士・薬剤師・歯科衛生士等で協働しています。「地域ケア会議」のアドバイザーとして幅広い知識や他職種との協働が求められるため、リーダー導入研修会のみならず、地域包括ケア推進委員会主催の定期勉強会やスキルアップ研修会、県民公開講座で知識を研鑽していく予定です。また、実際の地域ケア会議の傍聴もできます。人材バンク登録者宛てに案内をかけますので、導入研修の受講者は人材バンクへの登録をお願いします。



講師を務めた照屋一樹氏・金城一二氏・松並健治氏

今後も当会としてはサポート体制を整え、地域社会のニーズに対応することが出来る人材を育成し安定的に輩出する流れをつくる予定です。

(地域包括ケア推進委員 松並健治)



## 介護予防従事者研修会へ参加



講師 江田佳子氏

介護予防事業の効果的な実施に向け、市町村介護予防事業に従事する方々の資質向上を目的に平成27年9月11日、沖縄県医師会館にて沖縄県主催「介護予防従事者研修会」が開催されました。当協会からも地域包括ケア推進委員会を中心にリハビリテーション専門職として参加させていただきました。講師は全国でも活躍されている長崎県佐々町住民福祉課地域包括支援センター課長補佐であり、平成27年度地域づくりによる介護予防推進事業広域アドバイザーである江田佳子氏を迎え、佐々町の取り組みについて紹介しながら、各市町村に置き換えた考え方、事業の進め方について分かりやすく講義頂きました。制度は刻々と変化して行きますが、「ただの給付の代替ではなく、地域の中で暮らすということの追及」といった佐々町のこだわりが特に印象的で、多様な事業と住民

主体のゆるぎないスタンスに感銘を受けました。また、今回は沖縄県リハビリテーション専門職連絡協議会の会長として池城正浩会長も専門職の活用をテーマに講演いただき、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士それぞれの専門的な観点からの介護予防の考え方が説明されました。これから市町村で取り込まれる事業に対し我々が専門職としてできること、貢献できることを改めて確認できました。今回は事業主体となる県・市町村と我々リハビリテーション専門職が同じ空間で同じ情報を共有できる大変貴重な機会でした。本研修の参加に際し、ご高配いただきました沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課介護企画班、市町村関係者の皆様に感謝申し上げます。（事務局長 城間定治）



池城正浩氏



研修会後の意見交換会

研修会会場

## 「障害者スポーツの医学的サポートの現状～パラリンピックを通して～」への参加報告



平成27年度沖縄スポーツ指導者協議会助成事業で2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けて沖縄のトレーナーの医科学サポートについて考える講習会として、「障害者スポーツの医科学サポートの現状」ーパラリンピックを通じてーというテーマで、9月12日（土）午後3時半から琉球リハビリテーション学院で行われた。講師に広島県士会員でアスレティックトレーナー兼障害者スポーツトレーナーである門田（もんでん）正久先生をお迎えし、充実した内容の濃い話をして頂きました。参加者は71名で理学療法士、作業療法士をはじめ柔道整復師、鍼灸師、マッサージ師、医師、歯科衛生士、管理栄養士義肢装具士、選手、指導者等多職種が集まりました。

講習会では、東京オリンピックが決定してからスポーツ強化事業が厚生労働省から文部科学省に変更となり予算が増え、スポーツ庁が設置される等変化が起きている。また、スポーツ基本法により障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない。スポーツ施設の整備において障害者等の利便性の向上を図るよう努めるものとするなど、今後理学療法士、作業療法士等の医療従事者が障害者スポーツに関わる機会を増えると予測されました。

門田さんが実際にパラリンピックに帯同した話を聞いて、日本が障害者スポーツの支援が他国と比べて遅れていることを痛感したと同時に、選手村内の手すりの配置確認や安全性の確認、障害のクラス分け、ベッドや宿泊階のチェック、競技場までの移手段の確認、選手の管理として頸椎損傷者の排痰・褥瘡予防のポジショニング、CPの痙性コントロールなど理学療法士ならではの仕事がたくさんあることが分かりました。しかし、この分野に従事する理学療法士が少ない現状も知りました。今、制度が変わって障害者がスポーツを楽しむ環境が広がる中、養護学校や地域で障害スポーツを支える環境を構築する時期で有り、理学療法士がその現場で働けることを周知して頂けるようにまずは障害者がスポーツを楽しんでいるフィールドへ足を運ぶことが必要であると話されていました。最後に門田先生が私達に「生きがい・楽しみの中にスポーツがあることを理学療法士として患者さんに紹介して欲しい。生活を見るうえでスポーツを紹介できる理学療法士になって欲しい。」との事でした。追伸：沖縄では浦添や宜野湾で障害者スポーツを実施しているようです。機会があれば足を運んでくださいね。

（取材：広報部 神田）



## トピックス～産業理学療法これから～

皆さんは「産業理学療法」という言葉を聞いたことはありますか？まだまだ聞きなれない言葉だとは思いますが、今回、新しい理学療法分野である「産業理学療法」を紹介します！

### ○産業理学療法ってなに？

産業保健分野は労働者の健康対策を行う領域であり、主な目的は、健康障害の予防と健康の保持増進ですが、現在、理学療法士は含まれていません。産業理学療法研究会では“産業保健に関する理学療法の研究を推進することで産業保健分野における理学療法のエビデンスを蓄積し、理学療法の専門性を高めると同時に理学療法士の社会的活動基盤の確立、そして連携強化を行うことができると期待しているのです。”と述べており、産業保健分野への理学療法士の参入を目指しています！日本理学療法士協会でも産業理学療法部門を立ち上げており、現在会員は2015年4月時点で2050名となっており、会員は徐々に増えつつあります！

### ○どんなことができるの？

現在は主に、行政や企業との委託・提携しての勤労者への腰痛予防事業が活動の中心となっていますが、学術分野でも研究を進める事でエビデンスの確立を目指しています。今後は活動範囲を拡大し、生活習慣予防や学校保健分野、産後等のウーマンズヘルスケア、産業分野として就労支援を主にしたロボット開発も視野に活動しています。また、現在進んでいる地域包括ケアシステムにより、今後、各地方自治体から介護予防として高齢者に向けた運動指導や、医療・介護施設から職員向けの腰痛予防等の委託事業が増えていくと思われます。医療的知識を持ち、対象の個人・集団に応じて運動の種類や強度・運動量を調整できる、動作分析により動作指導ができる理学療法士ならではの分野だと思います！



### ○どんな人が活動してるの？

基本的に理学療法士であれば誰でも出来る分野です。ただ、現在の活動の中心が行政や企業からの委託事業の為、介護保険分野や介護施設、企業など、地域で活動している方は参入しやすいと思われます。現在、県士会会員では山内義崇さんがオフィス環境改善コンサルタントとして、オフィス腰痛改善セミナー等の運動指導で活動されています！

今回は山内義崇さんへ活動内容を伺う機会を頂いたので紹介します。

### Q：産業理学療法を始めようと思ったきっかけは？

山内義崇氏 A：大学生時代、欧米医療施設へ見学研修に行った事が始まりです。その経験の中でデンマーク理学療法士の産業場面での活躍ぶりを見て、「デンマーク理学療法士」の社会的評価の高さに驚きました。デンマークでは、“ドクターになりたいか、それともフィジカルセラピストになりたいか”そういう価値観です。その活躍ぶりを経験したことがその後の、私自身社会へ貢献したい、理学療法士スタイルが養われてきたのかとおもいます。私自身のビジョン、産業分野で理学療法士が社会的に評価されるルートを創るために、いわゆる「産業理学療法」という選択になった次第です。その後、産業保健分野への理学療法士のフィールドを広げる為に委託事業として始めました。

### Q：悩んだ事、苦勞した事はなんですか？

A：私は実際に産業理学療法の事業を始めるまでに十数年近く悩みを抱える時期がありました。今の日本の理学療法士国家資格の制度のなかで産業分野が貢献できる道筋は得られにくい現状があり、私にとって大きな壁となっていました。悩みに悩んで覚悟を決めて行き着いたのが医療人という人格を捨てて、「オフィス環境改善コンサルタント」という肩書きを選んだ訳です。ただ、この肩書きは皆さんが思っているものとは違い、病院の様に職が守られている訳でもない為、かなりのリスクを伴います。病院で仕事ができる環境が一番幸せだと思いますよ。

### Q：新たな事業を開拓するためには？

A：アイデアがあればすぐに新たな事業ができるわけではないです。そのアイデアを形にする為には実績が必要なんです。その為にエビデンスを積み重ねる、実績を上げる事が重要です。例えば商店街の方の腰痛予防を事業にするとしたら、そこに店を開いて呼びかけても必要性を感じないので誰も見向きもしないと思います。行政機関等での実績があつて、健康や利益向上に役立つ事が明らかになって初めて事業として成り立つ訳です。

産業理学療法士という新たな事業としての厳しさを聞くなかで、県の理学療法協会会員の方たちには「地域産業振興に繋がる視線を育成していただきたい」、「地域で信頼を得られるデータの蓄積と研究成果をだしていただきたい」とのお言葉を多々いただきました。また、産業理学療法を広める為に、県や厚生労働省、経済産業省など多種多様な活動をされている事を知りました。行政機関と密に連携を取り、研究など社会貢献する事で理学療法士の価値向上や高いエビデンスの確立を目指す姿勢は、是非とも見習わなければいけないものだと感じました。（広報部 池間裕輔）



山内氏と取材班

## パーキンソン病友の会サポート活動におけるサポーター募集!!

パーキンソン病友の会から定期交流会・サポート活動の依頼がありました。内容としては、身体的介助を行ったり、本人様はもちろん、ご家族様のお話も直接聞くことが出来る、貴重な体験でもあります。興味がある方はサポート活動に参加してみませんか？是非、力を貸して下さい。お待ちしております。

パーキンソン病友の会 交流会（理学療法士2名募集）

日時：平成27年10月25日（日） 時間11時30分～16時

場所：那覇市保健所3階



活動内容：駐車場～会場までの移動介助、会場設営、移乗・移動介助、トイレ動作介助等  
集団体操や日常生活上で困っている動作の助言、提案の実施。

申込・問い合わせ先：[ichimankai8643@yahoo.co.jp](mailto:ichimankai8643@yahoo.co.jp) 件名：パーキンソン病友の会サポート活動申し込み  
記入事項：①会員番号 ②氏名 ③勤務先 担当：地域支援部 上原 亮（デイサービス いちまん）

## 事務局便り

■■注意■■異動申請 お手続きをお願いします！

勤務先、自宅、氏名など会員情報に変更になった際は、速やかに会員情報の変更申請をお願いします。お手続きは「マイページ」から、お早めをお願いいたします。

※会費未納者への周知依頼 残高不足や振込用紙の未確認のため、ご本人の知らないうちに会費未納による退会になる可能性があります。退会になると研修などの履修によるポイントを失い、参加費などの優遇を受けることができません。会員同士で今一度確認をお願いします。

## 会員の皆様へ 日本理学療法士協会から重要なお知らせ（会費割引制度）

このたび、2015年度年会費より「育児休業割引」と「シニア割引」が導入されることになりました。対象の会員様におかれましては、ぜひご活用頂ければ幸いです。詳細をご確認の上マイページよりご申請ください。

**育児休業割引** 育児休業期間中に割引申請を行った会員について次年度会費を割引する制度

**シニア割引** 満65歳以上かつ会員歴25年以上の在会会員で割引申請を行った者について、以降の年会費を割引する制度

※詳しくは日本理学療法士協会ホームページをご確認ください。日本理学療法士協会<http://www.japanpt.or.jp/>

## 理学療法部門責任者連絡会議 新人異動会員歓迎会 の御案内

下記の日程でブロック毎に理学療法部門責任者連絡会議と新人異動会員歓迎会が開催されます。詳細はFAX通信あるいはホームページを確認してください。今回は会議内で大事なお知らせがありますので出席あるいは代理出席をしていただきますようご協力をお願いします。

中部ブロック：平成27年10月3日（ちゅうざん病院）

南部ブロック：平成27年10月24日（沖縄県総合福祉センター502会議室）

八重山ブロック：平成27年10月16日（かりゆし病院）

※宮古・北部ブロックはすでに終了。

## 教育学術局便り

### 新人教育プログラム研修会について

台風のために延期になっておりましたが、中北部ブロック新人教育プログラムの日程が決まりましたのでご報告致します。卒業生の皆様、または、まだ修了してない会員の皆様の参加をお待ちしております。

■■平成27年度新人教育プログラム研修会日程のお知らせ■■

○中北部ブロック 新人教育プログラム研修会

日 程	平成27年10月18日（日）・25日（日） 受付08:45～	
場 所	琉球リハビリテーション学院 住所：国頭郡金武町4348-2	
内 容	[18日（日）]	[25日（日）]
	09:00 オリエンテーション 09:30 B-1 一次救命処置と基本処置 10:40 B-2 クリニカルリーズニング 11:50 B-3 統計方法論※1 13:30 A-1 理学療法と倫理 14:40 A-2 協会組織と生涯学習システム 15:50 D-1 社会の中の理学療法	09:00 オリエンテーション 09:30 A-3 リスクマネジメント 10:40 A-4 人間関係および接遇 11:50 D-2 生涯学習と理学療法の専門領域 13:30 E-2 コーチングとティーチング 14:40 A-5 理学療法における関連法規

※1：学士・高度専門士を取得した会員はB3・B4が免除となります。平成24年度以降の入会者から適応です。

■■研修会に関する説明事項■■

※参加費は1講座5000円です。お釣りが無いように準備をお願いします。

1. 研修会の対象は、新人教育プログラム未修了の会員です。
2. 会員が所属しているブロックに関わらず、すべての研修会へ参加することができます。ブロックで参加者を限定しておりません。お近くの会場、都合のよい日程にご参加ください。
3. 新人教育プログラム研修会や他の講習会、学術大会等に参加される際には、必ず「会員証（楽天カードではありません）」をご持参ください。
4. 新人教育プログラムに関するお問い合わせは、沖縄県理学療法士協会のホームページの「問い合わせ書（会員）」に「新人教育プログラムについて」という題をつけてお問い合わせ下さい。後日ご返答いたします。



## 沖縄県理学療法士協会主催 研修案内

### スポーツ事業部 講習会④のご案内

【講師】久保田 正一 野球専門理学療法士 (ベースボールステーション)  
【テーマ】野球選手に対する機能評価・アプローチ方法 ～野手編～  
【内容】機能評価、フォーム解析、アプローチ方法などの実技講習  
【日時】平成27年11月21日(土) \*13:00 受付開始 13:30 講習開始 18:30 講習終了  
【場所】沖縄リハビリテーションセンター病院 (8F会議室) \*沖縄市比屋根2-15-1  
【対象】沖縄県理学療法士協会会員 及び 医療従事者  
【会費】会員 ¥2000 非会員 ¥5000 【定員】30名  
【申込み及び問い合わせ先】E-mailで下記の宛て先に件名「スポーツ事業部 講習会④ 申し込み」とし、本文中に①氏名、②所属、③携帯番号、④高校野球サポート希望：あり・なし、⑤高校野球サポート経験：あり・なし を入力の上、お送り下さい。  
宛て先：sportsjigyobu@yahoo.co.jp  
受付担当：スポーツ事業部 楠木 力(沖縄リハビリテーションセンター病院)  
\*締め切り11月7日(土)

### 通所リハ勉強会のお知らせ

テーマ：「同規模の通所事業所で工夫している点や困っている点を意見交換し、ひとつでも解決しよう！！」  
内容：最近、様々な事業所からリハビリに関する事、送迎に関する事、書類に関する事などを質問される方が多く、通所事業部として嬉しく思っています。今回、通所事業所の規模別で意見交換を行い、他事業所の工夫している点を持ち帰って活用して頂きたいと思えます。また、困っていることがあれば相談し、少しでも解決へ導けるよう意見交換を行いましょ。う。  
日時：平成27年10月13日(火) 19:00～21:00 場所：宜野湾記念病院 2階会議室  
主催：沖縄県理学療法士協会 通所事業部 参加費：無料  
\*通所事業部勉強会に興味のある方、医療・介護職など多数のご参加をお待ちしております。

#### 【申し込み方法】

勉強会申込時に事前調査をさせていただきますので、内容に漏れが無いようお願いいたします。また、事前準備がありますので、早めの申し込みをお願いします。下記の内容を記載の上、メールにてお申し込みください。

- ①氏名 ②職場 ③職種 ④臨床経験年数 ⑤PT会員or非会員  
⑥部署(通所リハ・通所介護・その他) ⑦規模(通常規模・大規模1・大規模2・その他)  
⑧セラピスト体制 PT 名、OT 名、ST 名、その他(柔道整復師など) 名  
⑨介護士 名、看護師 名、その他 名  
⑩工夫していること(他事業所へ教えてもいいこと) ⑪困っていること(相談したいこと)

申し込み先：oki.tsuushoriha@gmail.com

問い合わせ先：宜野湾記念病院 理学療法士 松並健治宛 TEL：098(893)2101

\*当日お聞きしたい質問等があれば事前申し込みの際に記載してください。

\*資料や座席等の準備がありますので、事前申し込みの協力をお願いします。

\*申し込みをされた方で、参加をキャンセルされる場合は必ず一報いただけますよう協力をお願いします。

### 地域包括ケア推進委員会 定例勉強会

【テーマ】スクエアステップ講義&体験会

【講師】仲里 宏淳 氏(ふれあい介護センター, 介護福祉士, スクエアステップ指導員)  
坂口 美香 氏(ふれあい介護センター, 理学療法士, スクエアステップ指導員)

【内容】介護予防事業や通所サービスで活用でき、認知症予防と転倒防止に効果的な運動プログラムのスクエアステップの講義と体験会を行います。25cm角のマス目(スクエア)が描かれたマット(横100cm×縦250cm)を使い、リーダーの指示するパターン通りにステップを踏んで前進するエクササイズです。体験がありますので、動きやすい服装でご参加下さい。みなさんの参加をお待ちしています。

【日時】平成27年11月5日(木) 午後7時～8時30分

【場所】北中城村役場 第2庁舎3階大会議室(北中城村喜舎場426-2)

【定員】40人(使用する器具の準備のため) ※定員に達し次第締切らせていただきます。

【対象】沖縄県理学療法士協会 会員

【申込み】E-mailで下記の宛先に件名「スクエアステップ講義&体験会 申し込み」とし、本文中に①氏名、②会員番号、③連絡先電話番号を入力の上、送信してください。

宛先：[entry@oki-pt.jp](mailto:entry@oki-pt.jp) 沖縄県理学療法士協会事務所

【問い合わせ】[oki.pt.matsunami@gmail.com](mailto:oki.pt.matsunami@gmail.com) 松並健治(宜野湾記念病院)

【参加費】500円



## 他団体主催 研修案内

### 第19回クリニカル・クラークシップ研修会「臨床実習受け入れ施設の役割について」

開催日：平成27年11月15日（日） 9：00～16：00 会場：豊見城中央病院5階 多目的ホール

対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

内容：卒前・卒後と継続した臨床教育を進める上で、「臨床実習受け入れ施設の役割」について取り上げ、クリニカル・クラークシップの実践方法などわかりやすくお伝えします。

講師：中川法一、日高正巳、吉川法生（セラピストのためのクリニカル・クラークシップ会長、副会長）

定員：100名 参加費：会員1,000円、非会員3,000円

申込み：セラピストのためのクリニカル・クラークシップ研究会ホームページからお申し込み下さい。

<http://reh-ccs.kenkyuukai.jp/> 問合せ：akiko@fruition.co.jp（事務局：西川）

### 平成27年度九州ブロック現職者講習会のご案内

1. 日時：平成27年12月6日（日）9:30～16:30（受付9:00～）

2. 会場：福岡国際医療福祉学院（〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜3丁目6-40 TEL092-832-1166）

3. テーマ：「超音波解剖ならびに機能解剖所見と運動療法との接点」（仮題）

4. 受講料：研修会開催時点で日本理学療法士協会九州ブロック会（九州各県士会）会員は無料（研修会当日は会員カードをご提示下さい）。5. 定員：40名 ※先着順です。締切日厳守 6. 申込方法：日本理学療法士協会HP（マイページ）7. 受付期間：2015年10月1日（木）～10月31日（土）※運動器理学療法研究部会の「運動器」ポイント認定を行います。8. 問合せ先：宇戸 友樹 アドレス：t-uto@asojuku.ac.jp TEL：092-436-9800

### テーマ：『脳卒中リハビリテーションのパラダイムシフト』

講師：千里リハビリテーション病院 副院長 理学療法士 吉尾 雅春 氏

脳卒中リハビリテーションのパラダイムシフトⅠ：「脳画像から読み解く 脳血管障害の理解とケアへの応用～病棟・在宅における日常生活の予後予測とケア・アプローチ～」

日時）平成27年10月24日（土）受付13：00～ 講義14：00～18：00

会場）熊本保健科学大学1号館1300L 講義室

定員・参加費）150名・熊本県理学療法士協会 会員：¥3,000 非会員：¥5,000

専門・認定理学療法士履修ポイント）「神経理学療法」10ポイント

脳卒中リハビリテーションのパラダイムシフトⅡ：「演習で学ぶ脳卒中患者の解剖学・運動学的アプローチ」

日時）平成27年10月25日（日）受付7：30～ 講義・演習8：30～16：30

会場）熊本保健科学大学2号館4階2404 徒手理学療法実習室

定員・参加費）40名・熊本県理学療法士協会 会員：¥5,000 非会員：¥10,000

専門・認定理学療法士履修ポイント）「神経理学療法」10ポイント

### 痛みのコントロールのプロを目指す方のための「基礎から学ぶ徒手医学」主催：日本臨床徒手医学協会

講師：荒木秀明（「非特異的腰痛の運動療法 症状に合わせた実践的アプローチ」の著者）

内容：初めて徒手療法を勉強される方にも理解しやすく、そして明日から臨床で活用できるように現場でのニーズに適合させ、脊椎変性疾患に加え多彩な病態に起因する疼痛のコントロールを目的としています。

#### ■ベーシックコース

ベーシックⅠ（徒手医学の基礎と触診の基本と上肢のmobilization）

ベーシックⅡ（mobilizationの基礎とmanipulation基礎と下肢mobilization）

#### ■アドバンスコース

腰部骨盤帯下肢Ⅲ（下肢機能障害から診る腰痛） 胸郭（下部胸郭機能障害から診る腰痛）

#### ■ベーシックコース

ベーシックⅠ：平成27年10月24日（土）14時半～18時半・25日（日）9時～15時

ベーシックⅡ：平成28年2月6日（土）14時半～18時半・7日（日）9時～15時

#### ■アドバンスコース

腰部骨盤帯下肢Ⅲ：平成27年11月22日（日）14時半～18時半・23日（月）9時～15時

胸郭：平成28年3月12日（土）14時半～18時半・13日（日）9時～15時

場所：整形外科 よぎクリニック 対象者：理学療法士、作業療法士等 受講料：20000円 定員：30名程度 申し込み先（問い合わせ）

日本臨床徒手医学協会のホームページ（<http://www.immsj-seminar.info>）にてコース内容等確認のうえ、申込み・問い合わせをお願いします。申込締切日：コース1週間前

### 第9回沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会 開催のお知らせ

日時：平成27年11月30日（月）会場：沖縄県医師会館 3Fホール（沖縄県島尻郡南風原町新川218-9）

内容：一般演題（2題） 19:30～20:30 特別講演（1題） 20:30～21:30 演題名は未定

内容：特別講演：聖路加看護大学 聖路加国際病院 看護管理室・Q Iセンター 池亀 俊美先生

参加費：100円

※心臓リハビリテーション指導士 更新のための単位（5単位）取得可能

※参加に際する事前連絡は不要です

お問い合わせ：沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会 事務局 嶺井 陽

問い合わせ先：琉球大学医学部附属病院リハビリテーション部 098-895-3331(代) mail:minei@akira.name

### 「進リハ」の集い 沖縄セミナーのご案内

開催日時：平成27年11月14日（土）14時30分～17時00分、15日（日）10時00分～16時00分

内容1日目：手指・手関節の評価と治療 2日目：肩の腱板損傷（修復術後）に対する評価と治療

場所：沖縄こどもとおとなの整形外科

定員：各日30名 費用：1日目 5000円 ※ペア割4000円 2日目 8500円 ※ペア割7500円

持ち物：徒手筋力検査法の本 申し込み：mr\_children\_keiichiro@yahoo.co.jp

①参加されるセミナー名、②お名前、③PC用アドレス、④職種・経験年数、⑤所属先、⑥ペア割の有無上記の内容を記載 「進」リハの集いHP <http://shin-reha.jimdo.com/?mobile=1>

### 「4D-CTで学ぶ関節内運動学 ～関節内運動学を基にした治療技術～」

「4D-CTで解き明かす関節内運動学」の著者でもある片岡先生を沖縄に招き研修会を行う運びとなりました。4D-CTによる関節内運動の動画を解説しながら体幹から四肢に対する関節内治療の実技を行って頂く予定です。触診から治療技術までを時間をかけ行って頂く予定なので興味のある先生や技術のブラッシュアップをしたい方は是非ご参加下さい。

講師：片岡 寿雄先生（岩倉病院 理学療法士） 期日：平成27年11月7日・8日

時間：7日（土）14：00～17：30 / 8日（日）09：00～16：00 定員：30名程度 場所：現在調整中

受講料：両日参加10000円 7日（土）のみ4000円 8日（日）のみ6000円

申し込み内容・連絡先

①氏名②性別③職種④免許取得年（西暦）⑤所属施設⑥PDF閲覧可能なPCアドレス

⑦懇親会参加の有無⑧常時連絡が取れる携帯番号⑨項目を入力の上下記アドレスへお申し込み下さい。3日以内に返信致します。返信が無い場合はお手数ですが再度ご連絡をお願い致します。

E-mail：okinawapmr@yahoo.co.jp 沖縄Physical Medicine研究会 研修会担当：渡慶次賀寿

### 沖縄ブロック活動分析研究大会のご案内

1. テーマ：『パーセプション』 2. 講師：特別講演 玉垣 努 神奈川県立保健福祉大学 作業療法士

3. 日時：平成27年10月18日（日）8:30（受付開始）～17:30

4. 会場：あめくの杜 大浜第一病院 2階ふれあいセンター

5. 主催：沖縄ブロック活動分析研究会

6. 定員：100名 7. 対象：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

8. 内容：・一般演題（VTR発表）、ポスター演題（発表・実技体験）、特別講演「活動分析におけるパーセプションを考える」

9. 受講締切り：平成27年10月4日（日） 10. 受講費：3,500円（含：研究大会冊子代）

11. 申込方法：E-mailにて、①所属、②職種、③経験年数、④懇親会参加の有無、⑤連絡先を記入の上、下記アドレスまで申し込み下さい。E-mail：o\_taikai@yahoo.co.jp（沖縄ブロック大会事務局）

件名：沖縄ブロック活動分析研究大会申し込み

施設ごとの申し込みの際は代表者の氏名、連絡先（メール可）を記載ください。

申し込み後、2・3日以内にメールもしくは電話にて受付受理、受講費振込先のご連絡をいたします。連絡がない際は下記に問合せください。

12. 問い合わせ先：おもと会 大浜第一病院 リハビリテーション科

沖縄ブロック活動分析研究大会事務局 作業療法士 新里光・吉嶺浩・松原良憲

住所：那覇市天久1000番 TEL:098(866)5171 FAX:098(864)1874 E-mail: o\_taikai@yahoo.co.jp

### 平成27年度 九州ブロック臨床実習指導者研修会

【日時】：平成27年11月22日（日曜日） 9：00～16：10（受付8：30～）

【会場】：宮崎リハビリテーション学院 教室5・6（宮崎市大字小松1119-62）

【内容】：テーマ「教育としての臨床実習～教育的視点による臨床実習の在り方と事例検討」

【対象】：九州各県理学療法士会の会員 【受講費】：無料

【定員】：100名程度 【申込締切】 平成27年11月16日（月曜日）

【申込方法】 web申請およびメールにて受け付けます。Web申請の場合は、協会ホームページのマイページから、「平成27年度 九州ブロック臨床実習指導者研修会」で検索してください。

メールの場合は、下記までメールにて件名に「九州ブロックSV研修会」として①氏名、②会員番号、③所属名、④所属先住所、⑤経験年数を記載の上お申し込みください。メールでのお申し込みの場合、受付確認メールを返信いたしますが、1週間経過しても返信が来ない場合、または締め切りを超えても連絡がない場合は、ご迷惑をおかけいたしますが下記まで問い合わせください。

【申込先及び問い合わせ先】宮崎リハビリテーション学院 大寺 健一郎

E-mail：kenichirou\_oodera@junwakai.com TEL：0985-48-2734



### 「NPO沖縄呼吸ケア研究会」定例勉強会のご案内

日時：2015年10月2日(金)・11月6日(金) 19:00～20:00 ※毎月第一金曜日  
場所：那覇市立病院3階講堂 参加費：無料 お問い合わせ：090-5723-2438 (宮平)  
沖縄呼吸ケア研究会ホームページ：<http://orcm.jimdo.com/>

※現在、会員募集しています！興味のある方は是非上記連絡先までご連絡下さい！

### 「沖縄クリティカルケアリハビリテーション研究会」定例勉強会のご案内

日時：2015年10月24日(土) 19:00～20:00 ※毎月第四土曜日  
会場：大浜第一病院 参加費：無料  
お問い合わせ(代表世話人)：那覇市立病院098-884-5111 (リハビリテーション科 安村) または宮平携帯  
(090-5723-2438) まで

### 【平成27年度 沖リハ同窓会勉強会】

小勉強会③ [テーマ] 高次脳機能障害  
[講師] 作業療法士 玉那覇迅 (嶺井第一病院) [日時] 平成27年10月28日 (水) 19:00～ (受付18:30～)  
[会場] 沖縄リハビリテーション福祉学院 [定員] 40名 [対象] 医療従事者  
[受講費] 同窓生300円 (会費納入済み者)、同窓生 (会費未納者) 500円、同窓生外500円  
[申込み] 平成27年10月1日～平成27年10月27日 [申込み方法] メールでの申し込みとなります。  
宛先：okireha.dousoukai@gmail.com 件名：「③小勉強会」  
内容：①氏名、②所属、③同窓生 (卒業期) or 同窓生外  
[問い合わせ先] 沖リハ同窓会学術部：仲宗根真奈美 (沖縄リハビリテーションセンター病院)  
問合せ先：okireha.dousoukai@gmail.com  
[お願い] 受付時の混雑予防の為、必ず事前申込みの上ご参加くださいますようお願いいたします。

### 第7回JPNFA全国セミナーin沖縄のお知らせ

日時：平成27年10月25日(日) 8時30分受付開始 9時～16時 会場：パークヒル天久  
講師：小滝昌彦 (PNF研究所西宮：所長) アシスタント：儀間敬人 (パークヒル天久)  
内容：「中枢神経疾患に対するPNFアプローチ - マット・床上動作を中心に -」  
PNFの説明、紹介 ・ 中枢神経疾患を想定したマット、床上動作の実施例 ・ 患者の症状別PNFアプローチの  
実技練習 参加費：JPNFA会員 5,000円 非会員 7,000円  
参加資格：理学療法士・作業療法士・医師 定員：30名 (定員に達し次第申し込みを締め切ります)  
申し込み：日本PNF協会HPより事前申し込みが必要となります。<http://www.jpnfa.jp/> より「システムロ  
グイン」内にて申し込みとなります。  
会場、参加についてのお問い合わせ；担当：儀間 連絡先：jpnfa.okinawa@jpnfa.jp  
会場へのアクセスなど詳細はHPをご参照ください。<http://www.jpnfa.jp>  
セミナーに関する問い合わせ：日本PNF協会地域振興部E-mail：jpnfa-chiiki@jpnfa.jp

### マイオチューニング (MT) アプローチ講習会のご案内

日時：平成27年11月22日(日) 13:00～17:30 (受付：12:30～)  
会場：現在調整中により参加者へは追って連絡致します。  
主催：沖縄県MTアプローチ勉強会 講師：アメニティーライフ研究所 中野 昭二先生  
内容：①MTA手技②疼痛やそれ以外の問題により困っている症例への治療実施。③臨床で困っている症例に  
ついての助言等。  
会費：会員：4,000円 (※一度当講習会へ参加した方対象) 会員外：7,000円 定員：30名程度  
※参加費は当日徴収となりますので宜しくお願い致します。  
申込み方法：下記記載のメールアドレスへ『MTA講習会参加希望』という件名を記載し、必要事項を記載し申し込  
み下さい。なお、施設から複数名参加される場合には、代表者1名がそれ以外の参加申込者の①～③も記入  
した上で申し込みを宜しくお願い致します。①氏名 (フリガナ) ②施設名 ③連絡先 (携帯番号)

【申込み先E-mail：[h-tengan@group.omotokai.jp](mailto:h-tengan@group.omotokai.jp)】

問い合わせ先：沖縄リハビリテーション福祉学院 担当：天願 TEL:098-946-1000 FAX:098-946-1999

### 腰・膝の運動連鎖から捉える評価と治療戦略 ～Knee spine syndrome～ 【実技セミナー】

主催：Updraft physio 開催日：平成27年11月29日(日) 9:00～16:00  
講師：多々良 大輔 先生 (福岡志恩病院 部長) 会場：沖縄こどもとおとなの整形外科  
内容：膝と脊椎は隣接関節ではないにも関わらず、症状を合併する例が多く、knee spine syndromeという概念  
が提唱されている。解剖学的・運動学的な関連因子を通して、理学療法において考慮すべき点について紹介し、  
実技を実践していく。  
受講費：6000円 (9/30以降の申し込みは7000円) 定員：30名 (先着順)  
申込み：メールにて件名を「多々良セミナー」として、①氏名、②所属先、③経歴年数、④連絡先 (Pcmail) を  
ご明記のうえ、下記連絡先までご連絡ください。 事務局：比嘉 俊文 updraft\_seminar@yahoo.co.jp

## 広報部便り

本誌へ研修会案内の掲載をご希望の場合は、当会HPより「広報誌掲載申込書」をダウンロードし、申込書へ必要事項を記入後、当協会事務局まで郵送して頂きますようお願いいたします。尚、掲載の可否については当会の事業目的に照らし、判断いたします。尚、毎月10日締切で翌月号への掲載となります。★掲載内容は概ね300字を目安としています。

[沖縄県理学療法士協会HP<http://www.oki-pt.jp>]

### 【研修案内に関する問い合わせ】

沖縄県理学療法士協会事務局098-930-5023(月～金曜日9:00～18:00担当:比嘉) optaoffice@oki-pt.jp

### 【広報誌HP掲載案内】

本誌は月末に印刷し、月初発行となっております。送付における期間に地域差が生じるケースもあり、皆様には大変ご迷惑をおかけしています。申し訳ありません。本誌は送付前にホームページへ掲載しておりますのでそちらをご利用していただくことをお勧めします。

## 理学療法士・作業療法士募集

募集人員：1名（パート）

待遇：当院規定に準ずる

勤務時間：午前9時～午後1時

休日：土曜午後・日曜・祝祭日

給与：当院規定に準ずる

業務内容：外来・通院患者様の理学療法・物理療法

応募方法：電話にてご連絡下さい。  
面接日を調整いたします。

## 医療法人グレイ 脳外科クリニック くだ

〒900-0022那覇市樋川2-1-37

TEL：098-834-2700 FAX：098-834-2702

### 【正職員】理学療法士募集

2015年11月新規開院により、理学療法士を募集します！

募集人員：2名

(整形外科クリニック及び

通所リハビリテーション各1名)

勤務時間：

月・火・木・金 午前8時半～午後5時半

水・土 午前8時半～午後0時半

休日：年間70日

給与：当院規定による

(基本給20万円から経験に応じ考慮します。)

待遇：各種社会保険加入予定

応募方法：電話にてご連絡下さい。

施設案内、面接日を調整いたします。

(採用担当：上原 090-9480-6668)



〒901-0618 沖縄県南城市玉城字船越 949-4  
(南城市立船越小学校裏)

連絡先：090-9480-6668

saiyo.locomo.clinic@gmail.com まで

## 理学療法士・作業療法士募集

募集人員：若干名（常勤・契約）

待遇：当院規定に準ずる。

詳細は面談にて

勤務内容：回復期リハビリ病棟(365日)

一般・療養・デイケア

勤務時間：8:30～17:30

応募方法：電話にてご連絡ください。

履歴書持参。見学のみも可

備考：回復期リハビリ病棟(40床)を中心に入院から在宅(通所・訪問)まで対応しています。

法人内、PT：15名、OT：11名、ST：2名在籍中です。

(担当：マキジョウまで)



医療法人沖縄光会 与勝病院

沖縄県うるま市勝連南風原3584

Tel:098-978-5235(代表)